

回生ニュース

K a i s e i N e w s



社会医療法人 峰和会

64号

2012.5月発行

発行／社会医療法人 峰和会
編集／鈴鹿回生病院
所在地／鈴鹿市国府町112番地1
TEL／059-375-1212
FAX／059-375-4777
URL／<http://www.kaischip.com>
編集協力／TCNagoya

- 1 医療の現場から
「4A病棟紹介！」
- 2 あなたの街のお医者さん
「小西内科クリニック」
- 3 鈴鹿回生病院診療担当医師一覧表
鈴鹿回生病院専門外来担当医師一覧表
- 4 交通案内（三重交通バス・シャトルバス時刻表）
鈴鹿回生病院附属クリニック診療担当医師一覧表
鈴鹿回生病院附属クリニック専門外来担当医師一覧表
- 5 健康コーナー「医食動源」
・家庭介護シリーズ～床ずれ（褥瘡）～
・わさび菜入り 卵サンド
- 6 回生.com
「2012’ 新入職員紹介」
- 7 Information

ほっと smile

新任 Dr・初期研修医のご紹介 他

第5回 桜 フォトコンテスト各部門受賞作品



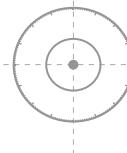
みなさんからの御意見

- いつも楽しみにしています。心が晴れやかになります。
- どなたでも手軽に参加できる桜のフォトコンテスト、写した方の気持ちも伝わってくる様で、春の訪れを共に楽しませて貰いました。
- 寒さが長く続き、やっと桜が咲いて病院一面花で本当に癒されました。



4A病棟紹介!

introduction



ベッド数55床の整形外科急性期病棟です。年間1000人以上の周術期看護を行っており手術前・後を通じての観察や処置を行いながら、手術や突然の受傷による不安を抱える患者さんへの精神的援助や、ご家族への支援を行っています。

特長

整形外科の急性期、ひざ、股関節、肩、腰、首、手などの手術の必要な患者さんが入院されています。術後安静が必要とされる間も、快適な入院生活をお送りいただけるようなベッドサイドケアを心がけるとともに、早期の社会・家庭復帰を目指してリハビリテーション部門や、4B病棟（亜急性期病棟）などの関係部門との連携を密にしています。術後1週間から10日ほど



課長 浅尾 優子

ど当病棟に入院していただき、その後は4B病棟に移っていたら患者さんがほとんどですので入れ替わりの激しいのが特長です。

体制

看護師28名、看護助手3名、クラークが1名。総勢32名で患者さんのケアを行っています。看護師の中には、この4月に2年目になる新人看護師がいます。新人教育においてはAチーム、Bチームに分かれて指導を行っています。1~2ヶ月でベテラン看護師を入れ替えるなどの工夫をし、手術後の患者さんはスムーズに受け持てるよう、スタッフ教育に力を入れています。医療チームにおける連携が大切ですので、患者さんのリハビリ状態に合わせて1週間に一回、医師・リハビリ・ワーカーのチームでカンファレンスも



← 4階A病棟(401~425)

行っています。

■■■ 4A病棟の こんないいところ！

患者さんとスタッフのコミュニケーションがよくとれているところだと思います。患者さんに厳しいことを言わなければならない時はそれなりに厳しく、その緩急を使い分けリハビリが上手にできた時などは一緒に喜んでいます。また、スタッフ全員が真剣に患者さんと向き合っており、病室からナースステーションに戻ってくると、笑顔になっています。担当看護師が休みの時などに、患者さんが「〇〇看護師さん、今日は休みなん？」などと、気にかけてくださることもあります。また4B病棟へ転出された患者さんが退院される時も、わざわざ当病棟に「退院することになったよ」と挨拶に来てくださいます。私たちも

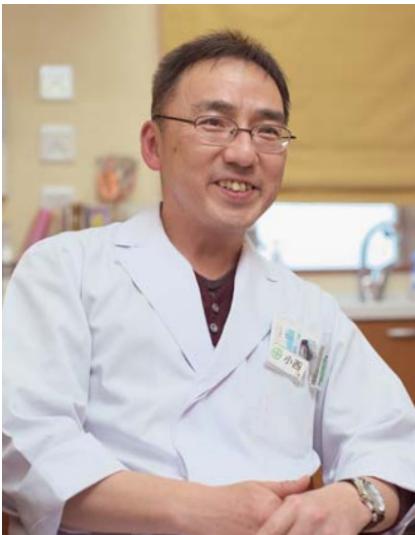
患者さんに和ませていただいているのです。看護師になってよかったと思う瞬間ですね。

■■■ 患者さんに伝えたいこと

入退院の多い病棟ですが、直接患者さんとふれあうことで「つながり」を感じています。できる限り患者さんの元で生の声を伺うように心がけています。時にはお叱りの言葉もありますが、その言葉を真摯に受け止め、より良い看護の提供に繋げて参りたいと考えています。そのためにも患者さんには、これからも何でも話していただきたいと思います。

連携医療機関紹介

小西内科クリニック



▲院長の小西正芳先生

開院5年目のフレッシュなクリニック

小西内科クリニックは、近鉄名古屋線「箕田駅」のほど近くにあります。天井吹き抜けから太陽光がふり注ぐ院内は暖色系で統一され、リラックスできる空間が広がります。院内のデザイン、色調はすべて奥様のアイデアなのだそうです。



院長の小西正芳先生は、三重大学医学部を昭和63年（1988年）にご卒業後、第三内科に入局されました。総合内科的にさまざまな患者さんを診療できるように、当時、消化器・肝臓、呼吸器、糖尿病、循環器、免疫の臨床・研究グループがあったこの科を選ばれたそうです。その後、紀南病院、岡波総合病院で消化器内科を中心とした一般内科、救急診療に従事されたのち、平成12年（2000年）から4年間、米国コネチカット大学でウィルス肝炎について、動物モデルの開発、遺伝子治療の基礎研究に取り組まれました。帰国後は亀

山回生病院にて高齢者医療、三重大学の保健管理センター准教授、産業医としてさまざまな研鑽を積まれ、平成19年（2007年）この地に開業されました。

医師を目指したきっかけ

医師という職業に興味を持ち始めたのは小学生の頃。「白い巨塔」や「ブラックジャック」がきっかけで、なかでも「白い巨塔」の財前教授ではなく、最終的には地域医療を担うことになる里見先生のような、人間に豊かな医師にあこがれ、医師を目指されたという小西先生。40歳半ばを迎えた頃、医師を目指した原点に戻って患者さんに一番近い医師として、地域の医療を担っていきたいと考えるようになったそうです。そしてこの箕田周辺にクリニックがないことを知り、この地域での開業を決意されました。

～「迅速かつ正確な診断治療を提供できるように、経鼻胃内視鏡、大腸内視鏡、胃透視、ヘリカルCT、超音波検査、睡眠時無呼吸モニター、などの機器を整備し、1時間以内に診断から治療まで行うよう努めています。重症の場合は、早急に鈴鹿回生病院・鈴鹿中央総合病院などの基幹病院に紹介転送できる体制を整えています。また、内科、消化器病、消化器内視鏡、肝臓学会の専門医を取得しており、肝炎の治療で有名な恩師でもある『みえ消化器内科（津市）』の垣内雅彦医師と連携してC型肝炎のペグインターフェロン治療も積極的に行っています」～



DATA

TEL 059-395-0007

住所

鈴鹿市中箕田町1124-6

診療科目

- 内科 ●消化器科 ●呼吸器科
- 循環器科 ●リハビリテーション科

診療時間

午前／9時00分～12時30分

午後／3時00分～6時30分

	月	火	水	木	金	土	日
午 前	○	○	○	○	○	○	×
午 後	○	○	×	○	○	×	×

休診日

水曜午後、土曜午後、日曜、祝日



患者さんへのメッセージ

「患者さんから、健康に関してどんな小さなことでも気軽に相談できるようなフレンドリーで温かいクリニックを目指して、当院スタッフはじめ、お隣にある箕田薬局のスタッフとも協力していく笑顔で患者さんをお迎えできるよう努めています。現在の状況に満足せず、より質の高い医療を提供できるように、スタッフ全員で力を合わせて行きたいと思っています」。

今後も、この地域を守る「患者さんに一番近い医師」としてご活躍されることでしょう。



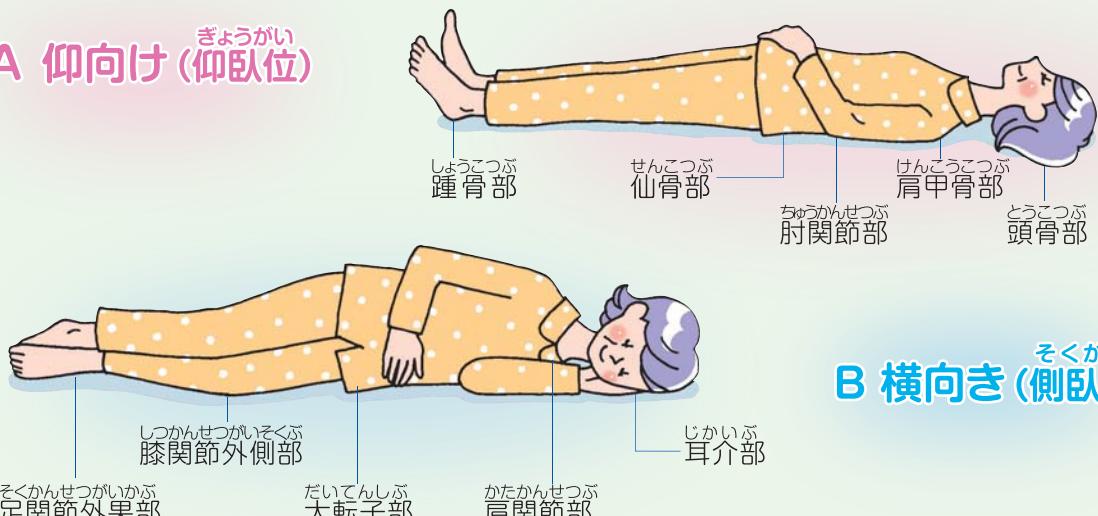
家庭介護シリーズ 床ずれ(褥瘡)とは

長期間寝たきりの高齢者にみられる皮膚潰瘍です。骨の突出部で体重の圧迫が多くかかる部位、仙骨部・大腿骨・かかとが好発部位です（図参照）。予防方法としては圧分散（2～3時間ごとの体位変換、エアーマットレスの使用）などやスキンケア（摩擦防止、衣類などのずれ防止、失禁対策、浸潤対策）が挙げられます。次号で細かい予防方法をお伝えします。

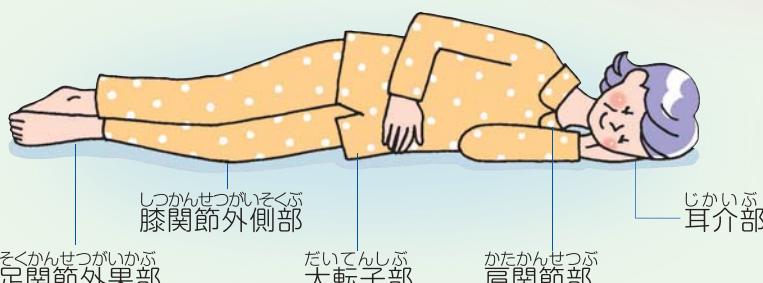


リハビリテーション課
理学療法士
間島 展華

A 仰向け（仰臥位）



B 横向き（側臥位）



発信@ 栄養管理室



管理栄養士
岡 久美子

●わさび菜

わさび菜はアブラナ科アブラナ属の植物で、鼻にツーンとくるわさびとは異なる野菜です。

わさび菜は独特の辛味があるのが特徴で、お浸しなどの加熱料理だけでなく、生で食べることができます。（辛味が苦手な方は湯通しすると食べやすくなります）。

主に11月から翌年3月にかけて収穫されていますが、1年を通して出荷されており価格も比較的安定しています。

●他の食品との組み合わせ

わさび菜はカルシウム、鉄、ビタミンB2などの栄養の他、カロテンが豊富に含まれるのが特徴です。カロテンは抗酸化作用があり、ガンや生活習慣病を予防する働きが期待されます。カロテンは油と一緒にとると吸収しやすくなるため、ドレッシングをかけたり油で炒めたりするなど油脂を含む食品と一緒にとるようにします。

ピックアップ食材 わさび菜

わさび菜入り卵サンド

【材料】4人分

8枚切食パン	8枚
わさび菜	1/2束
人参	小1本
ワインビネガー	大2杯なければ酢でOK
オリーブ油	大1杯
A 塩	3つまみ
砂糖	小1杯
黒コショウ	少々
卵（M）	4個
B ハーフマヨネーズ	大4杯
コショウ	少々



イングリッシュ
マフィンサンド

①人参の皮をむき、スライサーで千切りにし、Aの調味液に漬け込んでおく。

②卵はゆでてみじん切りにし、Bの調味料と和えておく。

③わさび菜は半分に切っておく。

④食パンは耳を切っておく。

⑤食パンに軽く水分をとった1と2、3を挟み、食べやすい大きさに切り器に盛り付ける。

栄養成分1人分

エネルギー	355kcal
たんぱく質	14.5g
脂質	14.8g
塩分	1.7g
食物繊維	2.5g

【材料】4人分 ぶらり イングリッシュマフィンサンド

イングリッシュマフィン	4個
わさび菜	1/3束
オリーブ油	小2杯
A 塩	3つまみ
コショウ	少々
ボンレスハム	4枚
トマト	中1個

①イングリッシュマフィンは半分に切り、トースターで温めておく。

②わさび菜は3cm程度に切り、Aで和えておく。

③トマトは5mm程度の輪切りにしておく。

④マフィンに2、3、ハムを挟みできあがり。

栄養成分1人分

エネルギー	190kcal
たんぱく質	7.5g
脂質	3.3g
塩分	1.1g
食物繊維	0.6g


薬剤管理課／薬剤師 川口 奈緒美(かわぐち なおみ)

4月より薬剤管理課に配属となりました。緑豊かで明るい雰囲気のある鈴鹿回生病院で働かせていただけることになり嬉しく思っています。持ち前の元気の良さを活かして、日々少しずつ着実に成長できるように頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひします。

看護部／看護師 大矢 真寿美(おおや ますみ)

4月より看護師として働かせていただきます。まだ入職したばかりでみなさんにご迷惑をおかけすることもあると思いますが、精一杯頑張っていきますのでよろしくお願ひします。
『挨拶』『笑顔』を忘れずに仕事に励んでいきたいと思います。

看護部／看護師 石井 洋子(いい ようこ)

鈴鹿回生病院は、あいさつを大切にしているということで、私も病院に恥じないよう笑顔とあいさつを心がけていきたいです。若さで患者さんや病院に貢献できるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。

リハビリテーション課／作業療法士 塩田 紀之(しおだ のりゆき)

私は幼い頃にけがをして、作業療法を受けたことが本職を目指すきっかけになりました。新潟から来て、分からぬ事ばかりですが、優しい作業療法士になれるよう頑張ります！ちなみに趣味はギターの弾き語りです。いつか人前で歌える日を待っています！

臨床検査課／臨床検査技師 荒木 宏哉(あらき ひろや)

少しでも早く仕事を覚え、臨床検査技師として患者さんのお役に立てるように、日々先輩方からさまざまなことを学んでいきたいです。また、将来は勉強に励み、高い技術や知識、しっかりとしたプロ意識を持った臨床検査技師になりたいと思います。

医事課／事務員 鎌田 真由美(かまだ まゆみ)

ひとつひとつ業務を覚えて、迅速な受付業務を行えるよう、また何よりも患者さんの立場に立って常に行動できる職員でありたいと思います。日々進歩する医療でこれからも専門知識を深める努力をするとともに、毎日の経験を積み重ね、チーム医療の一員になりたいです。

腎臓内科の診療が始まりました

4月より、堅村 信介医師、松尾 浩司医師による腎臓内科の診療が行われています。

腎臓内科について

透析や移植が必要な慢性腎臓病が増えています。腎臓の病気は、症状が乏しく、知らないうちに病気が進行してしまいますので、検診で「蛋白尿」「腎臓の働きが悪い」と言わされたことがある人は、注意が必要です。「透析や移植にならないこと」を目標に、患者さんの病状に応じた診療をするのが、私たち腎臓内科の仕事です。

平成25年度看護師募集 病院見学会開催!



来春就職予定の看護学生皆さん!
就職をお考えの看護師皆さん!
どうぞ、お気軽にご来院ください。

日時

・6月23日(土)10:00～・7月21日(土)10:00～
・8月4日(土)10:00～・9月8日(土)10:00～
※昼食はご用意しております。

場所

鈴鹿回生病院 研修棟3階

ご希望の方は、見学日前日までに下記宛てにご連絡ください。たくさんの方のご参加をお待ちいたしております。

連絡先: 鈴鹿回生病院
看護部 燃本由美
TEL 059-375-1332 (看護部直通)

奥山理写真展開催

40年以上伊勢神宮を撮り続けてこられた、伊勢市在住の写真家である奥山理（おくやまただし）さんの写真展を下記のとおり行います。

場所 鈴鹿回生病院附属クリニック「多目的室」

時間 9:00～16:00

期間 2012年5月8日(火)～6月5日(火)

2004年「日報連・報道写真ベスト10コンクール」
グランプリ、ほか受賞歴多数



編集後記

今回は「4A病棟紹介！」を中心に、医療連携紹介などをお送りいたしました。皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等がございましたら、広報委員会までお寄せください。

鈴鹿回生病院 広報委員会
〒513-8505 三重県鈴鹿市国府町112番地
TEL 059-375-1212
mail:info@kaiseihp.com

病院のボランティアの方に毎週美しく生けていた
だいておりま
す。(病院文閲)



開設の理念

生命への奉仕

病院の方針

- ▶ 地域の基幹病院として皆さんの医療と健康の増進に貢献します
- ▶ 患者さんの生命と個人の尊厳を守ります
- ▶ チーム医療を推進し 患者さん中心の医療を行います
- ▶ 医療の質を向上させ 時代の要請する医療水準を保ちます

私たちの目標

- ▶ 誰もが適切な医療を平等に受けられるようにします
- ▶ 診療内容・医療情報を適切に説明し 患者さんが最適な医療を選択できるようにします
- ▶ 医療環境を整備し 快適に診療が受けられるようにします

ほっと smile

新任Dr・初期研修医のご紹介



腎臓内科

堅村 信介
(ノムラ シンスケ)



腎臓内科

松尾 浩司
(マツオ ヒロシ)



耳鼻咽喉科

久野 裕規
(クノ ユウキ)



整形外科

山田 淳一
(ヤマダ ジュンイチ)



脳神経外科

北野 詳太郎
(キタノ ヨウタロウ)



初期臨床研修医

奥瀬 博亮
(オクセ ヒロアキ)



初期臨床研修医

北上 雅之
(キタガミ マサユキ)



初期臨床研修医

須藤 隆夫
(スドウ タカオ)

